



東京矢高会ニュース

ご挨拶

支部長代行 大羽 登

この度、東京矢高会支部長代行を引き受けました、第6期の大羽登です。「支部長不在じやや いけまあ 誰もやっちゃんさる人がおらにやあ ワンポイント 次の支部長が決まるまでわしがやるしかなかろう」微力ながら、老骨に鞭打って精進させて頂きます。短い期間と思いますが、お力添えの程、よろしくお願い致します。

巢ごもりの日々、各位「まめにやつとりんさるかいなあ」。毎年催した集いも昨今の世情世相の波に押しされ中止と、やむなくされています。

今年の5月は難しく世情を見つつ年内の何処かで開催される運びになりましょう。

東京矢高会は、広島・関西の各支部の先達で兄貴分の立ち

位置にあります。少子高齢化で年々先細りになって、大変淋しく感じています。

各位いい知恵がありましたらご教示ください。

もう一度原点に帰り(スクラップアンドビルド)あの柏の葉での青春時代を共有する者として、青春時代の想いはきつと我々の人生行路の糧となり生きづいてると思えます。(母校に感謝と報恩)

第4期中村輝夫(元支部長・現相談役)先輩は、集いの度に「ここに居る者は皆親類だ。何代もさかのぼると皆つながっている」と。親類が年に一度邂逅を求めて、友情と絆を深めるには、人生の佳き日となるにちがいません。近くにいっても中々会えないものです。何かの目的があれば、この指止まれで、同期生会になると存じます。

「見たい会いたい顔みたい」「古里は遠きにありて思うもの」

(啄木)その古里は歴史の宝庫でもあります。万葉集にも眞人が歌を収めています。現代風に訳しますと、「大国主神や彦名神が住んでおいでになったという

志都の岩屋(現在は高見、以前は高海)はその時からどのくらい年代を経ているのだろうか。おそらく縄文の頃より巨石信仰があり、いつの頃から初め云々。」

この歌から日本の古代政治の都かも知れない、という限りないロマンが湧いてきます。

いざ帰りなん邑南の里、柏の母校へ。

(追)今度、三宅良二君(35期)が、公私とも多忙にも拘わらず、事務局を引き受けてくれました。彼のポジティブなバイタリテイでホットな情報を届けてくれましょう。何卒ご期待下さい。

甲子園もまじか

矢高会会長 神田恵介(13期)

発行日 令和3年5月25日
 号数 第18号
 発行 矢上高校卒業生会東京支部
 発行人 大羽 登 編集人 三宅良一
 事務局 千葉市緑区高津戸町309-44

皆さんこんにちは！お元気ですか？今コロナも第4波とかで依然として猛威を振るっています。田舎に居ても関東のコロナのニュースが毎日入ってきます。島根は頑張っていますが邑南町でもすでに2人出ています。私も県外へはもちろん仲間との会合も控えているところです。矢上高校は最近野球が強くなりました。広島カープにいた山本翔さんを監督に迎え1昨年は県大会で優勝し昨年は4位でしたが中国大会に2年連続で出場しました。今年も春の選抜で21世紀杯の候補に挙がり「すわ！甲子園か！」と、校長先生は多くの報道陣に囲まれて会議室の真ん中に電話を置いて鳴るのを待っていたのですが、電話は鳴りませんでした。それにしてもだんだん強くなってきました。近いうちには甲子園の可能性は大いにあります。皆さん方もその時はよろしくお願いします。

この原稿を書いているのは4月初め桜の花も満開を少し過ぎたところで花吹雪というところまで。最近山頂近くまで、桜が咲いているのが見えます。

す。山もピンク色からだんだん萌黄色に変わりつつあります。ほんとに田舎というところは四季折々がはつきりしていていいところだなあとつくづく感じてるところです。

Uターンされる方がありましたらノウハウをお教えますのでお知らせ下さい。邑南町に東京から帰られたのは稲積さん、八田さん、それに私と東京勢が幅を利かしています。

私も田舎に帰って6年になりました。ゴルフはコロナで一時棚上げですが今では趣味を生かしてそば打ちを行っています。コロナになって特に思うのですが、「普通でいられることに感謝しなければいけない」と。飲み会も会合もなくなり東京にも行けなくなりまして同窓会開催も制約されているところなんです。早く普通の生活ができるようになりたいものです。コロナが長引きオンライン会議というのがはやっています。私の趣味のそば打ちも「オンライン一本棒そば打ち体験教室」というのを開きカメラの前でそば打ちを行っています。最近、この私のそば打ち教室が、邑南町の「ふるさと納税返礼品」として認定されました。東京からも参加できますのでどうですか。納税額は2万円以上ぐらいたったと思います。「ふるさと納税」をしていただけから私が誰でもつながる簡単な、そばの打ち方を、お教えます。そばだけというのもあり冷凍手打ち生そばもあ

ります。使うそば粉はもちろん邑南町産のそば粉です。今、こういう時だからこそ矢上高校卒業生という絆をしっかりと守っていきたいと思っています。田舎の卒業生会もコロナで表立た活動はできませんが、何かあったら皆はしゃぎまわってくれています。世話役も大変ですが、甲子園に行く



か行かないか夢を持つてのお世話でもあり「いざ」といときは会長だからそれなりの額を出せ。わしらはこれぐらいただとか言う輩もいるし大変ななあと思いつながら楽しくやっています。東京支部も同じような状況ではないかと思えます。矢上卒業生という絆を

大切にしながらいろいろ盛り上げていただきたいと思います。田舎の方も頑張っていますので東京支部もよろしくお願ひします。コロナが続いていたらオンラインという手もあります。楽しくやりましょう。それまでコロナにかからないように。田舎の状況は、為田屋で検索して下さい。

矢上高校卒業生会

東京支部の皆様へ挨拶

島根県立矢上高等学校
校長 志波 英樹

新緑の候 矢上高校卒業生会の皆様には、平素から本校発展のために尽力賜っており、厚くお礼申し上げます。このたび、新型コロナウイルス感染症第4波の全国的拡大、とくに東京都ならびに首都圏における深刻な感染状況の中、支部総会が2年連続で中止となりました。

支部総会の場では、卒業生の皆様に懐かしい母校の状況を報告させていただくとともに、これまでの「厚情」に対するお礼を述べさせていただきました。考えておりましたが、その機会が失われ、たいへん残念に感じているところで

私は平成30年度に第25代校長に就任し、本年度で3年目を迎えるところであります。わずかの2年間に於いても、矢上高校は大きな発展を遂



げております。

平成20年代後半から始まった本校の魅力化事業は着実に実を結び、県内外から矢上高校をめざして生徒が集まるようになりました。令和元年度は産業技術科の定員が一部回復(平成27年度に定数減)しました。令和2年度からは、文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」指定校となり、地域とともに教育の充実を図る取組を推進しています。

課外活動では、令和元年度に野球部が秋季県大会で初優勝(中国大会へスト8)、卓球部が全国選抜大会高根県予選で女子個人シングルス優勝(全国大会は中止)、農業クラブ農業鑑定競技全国大会で2名が優秀賞を受賞するなど、数々の快挙がありました。令和2年度においても、野球部が春のセンバツ21世紀杯最終候補校に選出、スキーでインターハイ出場を果たすなど、生徒の活躍は続いております。とくに野球部は、悲願の甲子園出場まであと二歩、手が届くところまで来ております。

詳細につきましては、支部総会開催に向けて準備しておりました資料を同封しましたので、そちらをご覧ください。

最後になりますが、卒業生会東京支部のますますの発展と、とくに時節柄会員の皆様の「健康を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます

す。

令和3年度入学式

4月9日(金)、矢上高校、令和3年度入学式が執り行われました。

本年度の新入生は95名。卒業式もそうでしたが、地域応援団の方に駐車場整理の手伝いをして頂き、地域から支えられている学校であることを感じております。保護者の皆様も入学もそう感じておられるようです。

入学式は昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大蔓延防止のため、新入生と保護者のみの参加となりました。

ご記憶ですか？

ご存じですか？

高山恒子(15期)

まずは、左記の歌詞を思い出してみてください。

一、薄紫の山脈は

はるか希望の 雲を呼び

磯風清き 六十里

みどりの海に 春たてば

おきの島山 夢のこと

ああうるわしのわが島根

二、山に幸あり 山を踏め

海に幸あり 波に乗れ

玉なす汗を 陽にあびて

働くところ 日本

行手かがやく 光あり

ああゆたかなるわが島根

三、香りゆかしき 伝説の

み国譲りの 往古より

ころろ一つに むつびあう

九十萬の 県民の

平和の歌は 今ぞ湧く

あゝやすらげきわが島根

の歌「薄紫の山脈」です。最近、

中学時代の同級生からの便り

で、県民歌が古関裕而さんの作

曲であることを知りました。驚

きでした。

そして、中学時代に学校で、

もらった愛唱歌集「島根県愛唱

歌集編集委員会」があることを

思い出し、急いで保管箱を探っ

てみました。ありました。ありま

した。歌集の四ページにしっかり

掲載されていました。かすかに

二行くらいは記憶していて、時

折口ずさんでいました。譜面も

この歌詞は作詞、米山治。作曲、古関裕而による、島根県民



薄紫の山脈は はるか希望の雲を呼び 磯風清き六十里 みどりの海に春たてば おきの島山 夢のこと ああうるわしのわが島根

ハ長調の簡単なものでしたので、ピアノで弾いてみました。なんとか歌いこなせるようになりました。ちなみに主人の勤務先だった会社の社歌も、古閑裕而さんの作曲でした。何か、ご縁を感じました。今、島根のテレビ界では、県民歌のコマーシャルが流れているそうです。

最近では、コロナ禍でなかなか帰省もままならず、久しぶりに島根の香りを嗅いだ思いがしました。皆さんも歌ってみてください。

コロナ禍での生活のひとコマでした。

矢上へ Uターンして八年

八田 一利(15期)

五十年も住み慣れた千葉を後にして、実家のある矢上へUターンしてから早くも八年の歳月が過ぎ去りました。よく言われる「光陰矢の如し」を実感すると共に、加齢にしたがってそのスピードがますます速くなっていることに気づく今日この頃です。

千葉に在住中は矢上高校卒業生の一人として、卒業生会東

京支部の皆様には親しくお付き合いいただき誠に有り難うございました。特に、矢上高校野球部東京後援会事務局として創設から十五年間、毎年のように皆様からご浄財を募り、寄付金として後援会本部を通し矢上高校へ届ける役目を全う出来たことを素直に喜びたいと思います。ご協力いただいた皆様に、この紙面を借りて感謝申し上げますと共に、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

私は田舎へ帰れば何らかの形で故郷に恩返しをしなければいけないと、軽い思いを抱きながら平成二十四年秋に矢上へ帰ってきました。ところが田舎のゆつたりとした余韻に浸る暇もなく、当時の矢上公民館長と矢上コミュニティ委員会会長からコミュニティ委員会の事務局長を引き受けて欲しいとの要請を受けました。話を聞いてみると、少子高齢化の進展や若者の減少を鑑み、平成二十五年度から五

年間で矢上地区の喫緊の課題解決やコミュニティの活性化を目指した「矢上地区地域コミュニティ再生事業」に取り組むことになっていたので、そのリーダー役として力を貸して欲しいとのことでした。

私にとっては余りにも急激で雲をつかむ様な話でしたので、この町の実態をつかむまで事業のスタートを延期して欲しい旨を伝えました。幸か不幸か即刻その申し出が通り、平成二十六年



度から実施ということになったので、矢上コミュニティ委員、会事務局長を引き受け、地域コミュニティ再生事業のリーダーを兼務して任務を遂行することになったので。早速、平成二十五年度は再生事業取り組みの準備期間として位置づけ、自治会長はじめ諸団体との話し合いの中で、「矢上地区の住みやすさアンケート調査」を矢上在住の中学生、高校生、住民各戸を対象に調査することにしました。この調査を基に問題点を抽出し分析して、再生事業の課題として取り上げ、住民に周知し協力要請することからスタートしました。

平成27年には国の政策で「地方創生」が叫ばれはじめ、邑南町は早速28年度から実質四年間で十二公民館エリアの人口減少に歯止めをかけることを目的とした「地区別戦略実現事業」を展開することになったのです。矢上地区は公民館や五自治会、諸団体を包含する形で新たに組織作りをし、その事務局役も仰せつかることになったのです。当初は二つの事業を展開するに当たって、猫の手も借りたいほどの忙しさでしたが、住民の皆様のご協力のお陰で、二つの

事業を無事終えることができず、やり残した課題はありましたが、この事業を通して多くの方々との意見を交わすことで、友好が深まり、とても有意義な八年間でした。

この間、矢上高等学校評議員、邑南町地域協働スクール促進委員、邑南ケーブルテレビ理事などを歴任し、現在は矢上高校野球部後援会役員、矢上高校寄宿舎生支援部会長、おなんフィンランド協会副会長、おおなんノルディックウォーキングクラブ役員、国際協会石見ライオンズクラブ会員として元気で活動しています。

普段は自家で食べるだけの野菜作りやゴルフを楽しんだり、原山登山等で自然に親しんだり、読書を楽しんだりしていましたが、何といつても気分が爽快なのは朝六時から約一時間程度のノルディックウォーキングです。天気の良い日の朝、ウォーキングをしながら新鮮な空気を胸いっぱい吸い込み、無我の境地から新しいことを想像する時間は筆舌に尽くし難いです。

コロナ禍の中、卒業生の皆様、どうぞ元気で過ごしてください。ますよう祈念申し上げます。

コロナ禍に思う

三宅光寛(21期)

コロナウイルス(武漢ウイルス)が蔓延してから早くも一年半が過ぎて多くの課題が露わになりました。

- 一 医師不足
- 二 ワクチン不足
- 三 ウイルス研究ができない
- 四 入国管理

等々上げたらきりがありません。日常生活ではマスクを一年中着用していなければならず、外出も制限され緊急事態宣言が東京都では三度も発せられてしまいました。その中で各種の催し物が中止に追い込まれ、私たち矢上高校卒業生会東京支部の総会開催も例外ではありませんでした。本年こそと思っていました。緊急事態宣言が発令され開催は絶望的と思われる。次回こそはコロナウイルスも収まり開催できる環境になればいいと思っています。

しかし暗い話ばかりではありません。本年三月にはセイウチの先祖ネオテリウムの化石が邑南町で見つかりました。また高校では出場は叶いませんでしたが、選抜高校野球21世紀枠にノミネ

ートされたとの報道も。念願の甲子園は、今後の野球部の活躍に希望を託していきたいと思えます。苦しい時、矢上高校でのマラソン大会を思い出します。高校のグラウンドを九時頃出発し高水を経て馬野原、井原、中野を経由してのコースを走り、私は体力がないのか、はたまた運動音痴なのか午後一時過ぎのゴールでした。その中で高水の山を越え、少しなだらかになった辺りでゆつくりと進んでいます。友達(今は鬼籍に入ってしまった大屋悟君)が「歩いちゃダメで。しゅおうても少しでも走らにゃあ、歩く癖がついて走るのが嫌になるで」と言葉を掛けられ、また走り出したことが蘇るとともに、途中応援のお母さん方から水や飴等を頂いたことが思い出されます。一生懸命生きていきコロナ禍を乗り越えることが出来ると思っていて皆で手を携えて頑張ります。

◆◆◆ 訃報 ◆◆◆

永らく卒業生会本部で尽力頂きました、渡辺生紀(4期)元会長が5月6日逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

令和元年度のお礼と

今年度年会費のお願い

本支部の経費は、皆様方からの会費・寄付金で運営されております。

令和元年度会費をお納め頂きました皆様、ありがとうございます。大勢の方に協力頂きました。

本支部では、支部の周年行事や母校の周年行事やイベント、野球部が甲子園出場等の時のために、積み立てをしております。ご協力くださいますようお願いいたします。一口千円として何口でもお納め頂くことができるようになっております。同封の払込用紙にてお納め頂ければ幸いです。本年度の会費をお納め下さいますよう宜しくお願いします。会費一口千円、何口でも

口座番号〇〇一四〇一〇一七二七七
金融機関からの振込用 口座番号
ゆうちょ銀行〇一九(ゼロイチキョウ)店 当座 〇〇七二二七七
口座名 矢上高等学校卒業生会東京支部

令和元年度 年会費納入芳名
十口一万円 三宅弘文(12期)五口五千円 中村輝夫(4期)植田豊四口四千円 山本立身(15期)三口三千円 石川

義之(5期)下瀬忠枝(5期)服部豊(15期)山田勅(18期)三宅光寛(21期)酒井富雄(22期)戸司恵美子(27期)三宅良

二(35期)二口二千円 熱田和人(6期)佐々木チズ子(6期)浦田庸子(6期)後藤勝子(6期)日野原育生(8期)花木保博(10期)日野山勉(10期)本田博(10期)渡邊正己(14期)高山恒子(15期)中岡庸修(15期)平井美千枝(17期)木村信恵

(18期)齊藤均(19期)日高勇(19期)岡部輝生(21期)三宅雅寛(23期)樽井(30期)一口千円 野坂正(5期)佐々木チズ子(6期)三浦政喜(6期)稲田隼(8期)宇津本由紀子(8期)一谷邦男(9期)日高正行(10期)枝久保美千恵(10期)三浦弘美(11期)洲浜豊和(12期)門屋邦子

(12期)小林千賀(13期)江藤洋子(13期)狩野恵(13期)椿美津枝(13期)日高文三(瑞穂1期)雨宮寿子(13期)沖征広(14期)森岡武(14期)宮田勝(14期)山崎照夫(14期)濱田逸子(14期)日野勇夫(瑞穂7期)倉持桂子(14期)坂根由里子(15期)上田明臣(17期)日向護(17期)森脇清(17期)小尾保子(瑞穂6期)島村不二子(19期)宮田勉(19期)伊賀美穂(21期)藤本秀子(21期)竹内常年(瑞穂18期)神田信子(23期)岡部健(28期)月森敏雄(32期)伊藤晃弘(34期)小坂陽子(42期)敬称略順不同。

矢上の方言

はあ 忘れんさうたらう。矢上弁
たまにやあ思い出しちゃんさいよ。
久しぶりの矢上弁。コロナにかかつちゃあいえんけえ、用事がなけりやあ、外

に出ちゃあいえんけえ。なるべく家におりんさいよ。大羽登支部長代行や21期の三宅光寛先輩が、紹介しちゃんさいつた高見地区。最近、原始的なセイウチ、ネオテリウムの下あこの化石が見つかったげな。世界でも北米大陸でしか見つかつたらんかった化石が、国内で初めて、見つかったのが高見地区。たかみ、今は高見だが、ちようと前まで高海たつたげな。そこ出身の同級生から聞いたけえ、間違(おとり)やあすまあ。昔々のその昔しや海たつたげな。その近くにあるのが、「志都の岩屋」遠足で行きんさうた方もおりんさう。「志都の岩屋」の、「つ」の字は、江津の津しやあないで、間違えんさんなよ。東京都の都、昔しやあ、みやこ、だつたかも知れんなあ。ロマンがあろう。その近くの久喜ちゆうと(ころ)にやあ、銀山の遺跡があるげな。なかなか邑南町もええと(ころ)があるけえ。ワクチン(う)つてもらうて、コロナが終息したら、帰って行ってみようや。

編集後記

さあ、今回の矢上弁の問題はズバリ「すばり」。思い出しんさうたかいな。よお思い出しんさうらんかつたら、矢上の親戚やら同級生に電話して聞きんさうたもええで。答は次回の総会で。

毎年少なくとも、年に一度は帰省して墓参りをおりましたが、昨年は一度も帰ることが出来ませんでした。今年も難しい状況です。また、ここ数年皆様に応援して頂き、年に四〜五回の民謡公演を主催して頂きましたが、昨年三月一日のCD発売記念公演の後は、全くできなくなりました。パンデミック。古くは猛威を振るうた天然痘やペスト、第一次世界大戦のスペイン風邪。日本でもかなりの影響があつたようです。ちょうどPRSレディの朝トラの再放送で「あぐり」をやつていました。岡山を舞台にした場面、主人公あぐりの実父と二人の姉が、スペイン風邪で亡くなっていました。人類は、このような苦難を幾度も克服してきました。おそろく、もうしばらくすると、明るい兆しが見えることでしょう。もう少しの辛抱です。今号にも原稿をお寄せ頂き有難うございました。この場をお借りして御礼申し上げます。次回発行は今秋の予定です。皆様からの原稿をお待ちしております。身近なことから、こだわり、趣味、旅の思い出、我が青春時代、我が人生等々、テーマは自由です。ご協力の程どうぞ宜しくお願いします。十分注意しておりますが誤字脱字や、見づらいつころもあろうかと思ひます。どうぞお許し下さい。お気づきの点がありましたら何なりと申し付け下さい。コロナでの生活は何かと不自由ではありますが、生きていりや、こそです。どうぞご自愛下さい。

三宅 良(35期)